



さかえ

栄小学校

所在地 〒556-0025

大阪市浪速区浪速東 1-1-61

電話 06-6568-5855

FAX 06-6568-6550

校長名 岸本 昌悟



校長先生からのメッセージ

1872年、学制発布を前に、徳浄寺内に誕生した栄小学校は、社会が大きく変化する中、150年以上も地域のみなさんの「子どもの教育は地域の力で」という強い思いと、歴史と伝統がたくさん継承されてきた素敵な学校です。校舎を建てるため、地域のみなさんがお金を積み立ててくださったことは、特筆すべき、他に類をみないことです。地域のみなさんの思いがこめられた当時の校舎は、日本三校の一つと言われたそうです。その深い思いと、歴史、伝統が脈々と受け継がれ、今の第5期の校舎になります。「ひとにやさしい」「福祉と人権」を大切にできた素敵な町であり、子どもたち一人ひとりのつながり、地域の人のつながりをとても大切にしているあたたかいぬくもりのある学校です。明るく、元気いっぱい、笑顔の素敵なやさしい子どもたちばかりです。

本校は、研究主題を「自分の考えを持ち、友だちの考えも大切にできる子どもの育成」とし、多様な体験を通して、得られた発見や気づき考えを確実にし、友だちと共有・対話することで、自分の考えをさらに広げ、学んでいくことを大切にしています。子どもたち一人ひとりが存分に力を発揮できるよう、教職員一同、力を尽くしてまいります。



運営に関する計画（概要）

【安全・安心な教育の推進】

小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を95%以上にする。
今年度末の本校児童アンケートにおいて、「自分には良いところがあると思う」の項目について肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント以上向上させる。
小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を75%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の90%以上にする。
小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。

全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

● 令和5年度調査結果の概要 ● 取組みの成果と課題、アクションプラン

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要と今後の方策

◆国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域において、全国平均正答率を上回ったが、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「読むこと」の領域が全国平均正答率に到達できなかった。

【読解力向上に向けた取組】

⇒教材分の内容の読解を進めていくにあたって、読むための知識・技能を身につけるため、発達段階に応じて知識・技能を「学習用語」という形で蓄積し、読解力の向上を図る。

◆算数では、「数と計算」「変化と関係」の領域において、全国平均を上回った。「図形」「データの活用」の領域においては、全国平均を下回った。特に、本校の平均正答率及び無回答率の状況と、学習指導要領の相関関係を加味すると、「図形」「データの活用」の領域の系統性と、各領域を横断的に捉え、算数の見方・考え方を働かせた思考力・判断力に課題がある。

【算数科の個別最適化した学びに向けた取組】

⇒児童の習得状況に応じて習熟度別分割授業を行い、条件を変えた問題や学習したことを活かして解決する問題を通して、考え方を広げ深めるよう授業改善を図る。加えて、基礎的な学力の定着を図るため、学年の実態に応じた反復練習などの課題に取り組む時間を週1回以上設定する。

◆児童質問紙において、「自己有用感」「主体的・対話的で深い学びからの授業改善に関する取組」については、全国平均と比較すると良好な状態にある。

大阪市教育委員会では、令和5年度「全国学力・学習状況調査」は、調査参加学年が単学級の学校の校長は、調査結果及び調査結果から明らかになった現状等を公表しないことができるものとしており、本校では、平均正答率を含む調査結果は公表いたしません。

全国体力・運動能力、運動習慣調査等の結果から明らかになった現状

● 令和5年度調査結果の概要 ● 自校の取組みの成果と課題、アクションプラン

- ◆本校の体力合計点は、男女ともに全国平均を下回っている。
- ◆本校の男女ともに特に課題となるのが、反復横跳びと20mシャトルランである。
- ◆握力においては、男女とも良好な状態にある。
- ◆「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問に対しても、男子は80%、女子は67%の児童が肯定的な回答をしている。

【本校の取組と成果】

◆毎年、運動委員会によるかけあし月間や大縄大会を設定することで、児童が外で運動する機会を増やしている。また、体育の学習を中心に外で運動する機会を増やし、教員も一緒に体を動かす機会を確保している。「運動は大切な」の質問では、7割以上の児童が大切と答え、「体育の授業は楽しい」と肯定的に答える児童の割合は、男子で100%を達成している。体育科の学習において、仲間とのかかわり合いを深めたり、ICT機器や学習カードを活用したりしながら、課題を見出し目標設定を明確にして授業を進めている。その解決に向けて取り組むことで、自己の学びを深め、意欲的に取り組み、自己の学びを深めることができた。

【本校の課題】

◆基礎感覚づくりの運動の段階で、各領域の特性に応じた運動を取り入れたり、少人数での学習の場面での試行錯誤する時間を確保したりしながら、児童一人一人の学びの場を工夫するとともに、発達段階に応じた系統性のある取組を工夫する。また、児童が外で運動する機会を継続して提供していく。

大阪市教育委員会では、令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」については、調査参加学年が単学級の学校の校長は、調査結果及び調査結果から明らかになった現状等を公表しないことができるものとしており、本校では、平均正答率を含む調査結果は公表いたしません。



○ 栄小学校 創立152周年

本校は、明治5(1872)年に創立した歴史ある小学校です。創立後、地域のみなさんが3年かかって積み立て、地域のみなさんの力で、レンガづくりの立派な校舎を1875年に竣工させました。本校舎は、その150年超の伝統と歴史を脈々と受け継ぎ、平成26年1月に移転した第5期の校舎です。一昨年度、栄小学校は、創立150周年をお祝いする会を実施し、盛会に終えることができました。更なる次へのステップにスタートしました。



○ ICTを活用した「情報活用能力」の育成

学校情報化優良校として、学習者用1人1台端末を活用した「ICT教育」を推進し、情報活用能力の育成を図っています。自分の心の状態を表す「心の天気」の活用により、一人一人をきめ細かくみていく体制を整えています。



○ 交流学习やたてわり活動

異学年での交流学习や全学年でのたてわり活動の取組の強化により、お互いに認め合う人権教育を推進しています。



○ SDGsの視点を学習に

持続可能な社会の実現に向けた「総合的な学習の時間」などの取組のもとに、自らの生き方を考えるための資質・能力を育成します。



○ 安全に関わる取組

「地域連合町会」「防犯協会」「保護者」「学校」が連携することにより、多くの方々に見守られながら、各町会などの10数班の集団に分かれて、集団登校が毎日、安全に行われています。地域・保護者によって子どもたちの安全や安心が大切にされています。

毎週水曜日の下校時にも、地域の方に見守っていただいています。その他にも「保護者引き渡し訓練」など防災・減災教育にも取り組んでいます。

